

# 日本語教師研修「日本語教育の参照枠理論編・実践編」

概要	目的	<p>「日本語教育の参照枠」を理解し、学習・教授・評価を包括的にることのできる日本語教員の育成を図る。          全体目標：日本語教育の参照枠の理解を深め、日本語教育機関の横のつながりを作り、持続可能な人的リソースを増やす。          理論目標：各自の勤務校において、参照枠を活かした日本語教育の水準や目標を定め、カリキュラム導入計画を作成する。          実践目標：参照枠を活かした日本語教育の水準や目標を定め、マイスクールCan-doを作成する。</p>	
	概要・特徴	<p>参加した受講生同士が参照枠を学びあい、様々な学習観、評価観を知り、自らの勤務する学校のマイスクールCan-doを作成して、現場のカリキュラムに活かすことを目指す。</p>	
実証内容	手法	オンライン形式(Zoom使用)	
	実証期間	<p>【理論編】            R1:6月22日～8月31日            R2:6月24日～9月2日            R3:6月25日～9月3日            ※休み:8月11日～8月17日</p>	<p>【実践編】            J4:7月5日～9月13日            J5:7月7日～9月15日            J6:7月9日～9月17日            ※休み:8月11日～8月17日</p>
	実施頻度・回数	<p>【理論編】 週1回 全10回／30名／各クラス            R1:水曜クラス 10:00～11:30            R2:金曜クラス 13:30～15:00            R3:土曜クラス 10:00～11:30</p>	<p>【実践編】 週1回 全10回／20名／各クラス            J4:火曜クラス 10:00～11:30            J5:木曜クラス 13:30～15:00            J6:土曜クラス 13:30～15:00</p>
	使用教材	「日本語教育の参照枠」の報告(文化審議会国語分科会 令和3年10月)、手引書、オリジナル資料	
	シラバス概要	<p>【理論編】            日本語教育の参照枠について理解し、その現状と課題を知る            日本語能力観、日本語熟達度の捉え方を理解する            5つの言語活動ごとのCan-do(活動、方略、テキスト、能力)を知る            Can-doをベースにしたカリキュラム開発計画の手順を考える</p>	<p>【実践編】            5つの言語活動別に、生活・留学・就労等の活動状況に応じたCan-doを検討する            参照枠を活かした日本語教育の基準や目標を考える            各自の勤務校におけるマイスクールCan-doを作成する</p>
条件	受講対象者	告示校の推薦を受けた専任日本語教師(経験1年以上が望ましい)	
	講師レベル・条件	日本語教師養成講座講師経験10年以上の講師が担当	
	学習進捗管理等	learningBOXを利用。各受講者へ登録案内を行い、本システムを通じ出欠・成績・学習進捗管理を行う。	
	受講者の必要備品	PC(カメラ・音声)、インターネット環境、パワーポイントのダウンロード	
	その他の必要事項	成果物提出。出席率80%以上の受講生には、修了証を授与。	